

(10) 大気汚染（粉じん等）

- 1) 調査目的

荒瀬集落において、工事による粉じん等の発生状況を把握することを目的とする。
- 2) 調査時期・頻度

工事期間中に調査を実施する。
- 3) 調査方法

デポジットゲージを設置し、降下ばいじん量を採取する。1 月ごとに試料を採取し、固形物総量を測定し、降下ばいじん量を算出する。

5) 調査結果

平成 25 年 4～5 月及び 8～9 月の降下ばいじん量 4.56～8.69 t/km²/月であり、参考基準（「面整備事業環境影響評価マニュアル」（平成 11 年 建設省都市局）の 10t/km²/月）を下回るものであった。

表 1 粉じん調査結果（平成 25 年度）

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月
pH		5.9	6.6	—	—	5.9	6.2
水不溶性物質	mg	139.6	236.2	—	—	164.9	205.9
水溶性物質	mg	207.59	86.17	—	—	385.66	428.88
固形物総量	mg	347.19	322.37	—	—	550.56	634.78
ロート径	cm	30	30	—	—	30	30
降下ばいじん量	(t/km2/期間)	4.91	4.56	—	—	7.79	8.98
採取期間	開始日	4月5日	5月1日	—	—	7月31日	8月30日
	採取日	5月1日	5月31日	—	—	8月30日	9月30日
採取日数	日	26	30	—	—	30	31
降下ばいじん量	(t/km2/30日)	5.67	4.56	—	—	7.79	8.69
※ 参考値	(t/km2/30日)	10					

※参考値：10t/km2/30日（「面整備事業環境影響評価マニュアル」（平成11年 建設省都市局監修））

4) 調査地点

昨年度調査地点と同じ地点で調査を実施する。工事区域と荒瀬集落の間に位置する、荒瀬ダム下流の企業局用地内にデポジットゲージを設置する。

